

トピックス



協働ステーション中央 見本市

2月28日、協働ステーション中央で、区内を中心に活動する社会貢献団体による「見本市」が開催され、日頃の活動発表を行いました。「子育て」「観光」など多様なテーマが取り上げられ、発表後には、パネルにアドバイスを書いた付箋を貼り、観客と発表者が積極的に交流をしていました。

- 掲載可否の決定後、掲載料の納入、版下原稿の送付をお願いします。詳しい日程は決定時にお知らせします。
- 詳しくはお問合せください。TEL10418404
- 中央区築地1-1-1
- 高齢者福祉課高齢者福祉係 TEL(3546)5353

別表 広告掲載料

種類	掲載位置	大きさ 区画単位	掲載料
高齢者福祉事業のしおり	一号広告	裏表紙の裏(2色) 縦115mm 横190mm	5万円
	二号広告	本文中(2色) 縦76mm 横95mm	5千円
中央区健康づくりガイドブック(仮称)	一号広告	裏表紙の裏(フルカラー) 縦115mm 横190mm	10万円
	二号広告	本文中(フルカラー) 縦115mm 横190mm	3万円

◎2区画以上の申込みは、区画単価に掲載区画数を乗じた金額です。
◎料金は消費税込みの金額です。

冊子の内容
区で実施する高齢者に関する事業などについて、あましをまとめた冊子

発行部数
2万1900部

規格
A4判・約100ページ程度

冊子の内容
介護サービスなど高齢者福祉に關連の深い事業のもの
中央区健康づくりガイドブック(仮称)

冊子の内容
介護予防に関する基礎知識や運動できる区施設などの情報をまとめた冊子

「高齢者福祉事業のしおり」および「中央区健康づくりガイドブック(仮称)」に掲載する広告を募集します

凡例

問合わせ申込先

HP ホームページアドレス

Eメールアドレス

- 発行部数 2万2千部
- 規格 A4判・約50ページ程度
- 募集する広告内容 区内高齢者の介護予防につながるもの
- 共通事項
- 発行予定 7月中旬
- 配布対象 区内で65歳以上の高齢者のいる世帯
- 広告募集期間 3月23日(月)～4月17日(金)
- 広告掲載料など 別表のとおり
- 応募を認められないもの
 - ・ それぞれの冊子の公共性や品位を損なうもの
 - ・ 「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律」第2条に掲げる営業に該当するもの
 - ・ 政治活動、宗教活動、求人広告、個人の宣伝など

申込方法

募集期間内に区役所4階高齢者福祉課、日本橋・月島特別出張所で配布する申込書に原稿を添えて、区役所4階高齢者福祉課に持参または郵送で申込む。

◎応募多数の場合は抽選です。

◎申込書は区のホームページからダウンロードすることもできます。

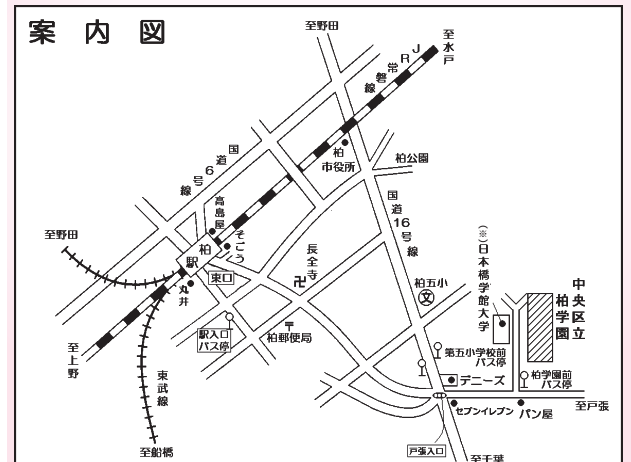
◎掲載可否の決定後、掲載料の納入、版下原稿の送付をお願いします。詳しい日程は決定時にお知らせします。

◎詳しくはお問合せください。TEL10418404

◎中央区築地1-1-1

◎高齢者福祉課高齢者福祉係 TEL(3546)5353

～あふれる自然に春の訪れ～ 柏学園開放 4月4日(土)・5日(日)



(※) 4月1日から開智国際大学へ校名が変更になります



▼ 昨年の柏学園開放の様子

毎年、桜の咲く時期に区民の皆さんに開放している柏学園は、中央区から電車約1時間、豊かな自然に囲まれた校外学園です。

柏学園では、陽春の訪れとともに草木が芽吹き、花がそこかしこに咲きはじめています。

春いっぱい柏学園へ、皆さんと一緒に過ごしてください。

日時
4月4日(土)、5日(日)(雨天実施)

会場
柏学園

交通機関
・ JR柏駅東口下車徒歩25分
・ バスを利用する場合は阪東バス「戸張」行「柏学園前」下車徒歩5分または「大津ヶ丘団地」行「第五小学校前」下車徒歩10分

◎ご来園の際は公共交通機関をご利用ください。
TEL(3546)5516



銅造地藏菩薩立像

江戸時代の当社寺において、江戸山王大権現(明治元年から「日枝神社」の社号)の本地仏(化身である神の本来の姿(仏・菩薩))が智泉院の本尊・薬師如来とされてきました。そして、病氣平癒や延命長寿などの現世利益に功德があるとする「薬師信仰」の高まりとともに、「茅場町薬師」は江戸庶民の篤い信仰を集めました。しかし、明治の廃仏毀釈をはじめとする苦難の歴史の過程で、かつての本尊・

木造薬師如来坐像(室町時代の作)は神奈川県川崎市、天台宗寺院(神木山等覺院)長徳寺へと移転安置されました。さて、今回の文化財は智泉院の境内に安置されている銅造地藏菩薩立像です。当像は室町時代の木彫像である旧本尊とは異なり、近代に鑄造された像高235センチメートルほどのブロンズ製の仏像です。この地藏菩薩は、大正12年(1923)の関東大震災で横死した数百名にも及ぶ日本橋魚河岸関係者の菩提を弔うため、魚河岸が組織した地藏講によって昭和2年(1927)に造立されました。制作を依頼された彫刻家・版画家の戸張孤雁(1882～1927)は、本小田原町(現在の日本橋本町一丁目)の生まれで、自身も震災で肉親を失った一人でした。なお、当像は孤雁の最晩年の遺作とも、孤雁の指図で彫刻家の喜多武四郎(1897～1970)が制作したとも言われています。

蓮台と反花のみの簡素な蓮華座に立つ尊像は、通肩の衲衣をまとう比丘形で、左手に苦厄を取り除き願いを叶える如意宝珠を持ち、右手には錫杖を持って現世を行脚し救済の手を差しのべる形相となっています。張りのある肩、すっと伸びた長い足、そして慈愛に満ちた柔和な尊顔と宝珠形の頭光(頭部背後の光背)は、拝する人の角度、方向、感受性などによって表情を変えることでしよう。その像容からは近代的な造形彫刻の表現とともに、建立した魚河岸の人々の心情が伝わってきます。

中央区総括文化財調査指導員 増山一成

ちょっと知っ得 / 区内の文化財

銅造地藏菩薩立像

区民有形文化財 彫刻
日本橋茅場町一丁目5番13号 智泉院